



<http://www.global-marketing-labo.jp>

近年のマーケティングの対象は国内市場中心からグローバル市場へと広がっております。

弊社では、グローバル市場においても足で稼ぐ生きた情報を収集すべく、充実した社内体制と外部ネットワークを構築し、多数の海外調査を実施しております。

『グローバルマーケティングラボ』では、工業市場研究所の海外調査のメニューの紹介や調査実績、各国情勢コラムを掲載しております。調査実績、海外情勢コラムは随時、更新を行っておりますので、是非、ご覧ください。

海外市場調査にご興味のある方は、TEL:03-6459-0165 又は  
<http://www.global-marketing-labo.jp/contact/> までご連絡下さい。

---

## WEEKLY NEWS

---

### ◆バイオ化学品：東レが膜利用糖化プロセスのタイ実証プラントの竣工式を実施（7月6日）

東レは、製糖工場で発生する余剰バガスを原料として、各種バイオ化学品生産の共通原料となるセルロース糖を製造する実証プラントを三井製糖、三井物産と共同で完成させたと発表した。

本実証プラントは、2017年1月に三井製糖と設立した Cellulosic Biomass Technology Co., Ltd.(本社:タイ)の事業所内に建設した。

タイは、世界有数のサトウキビ産出国であり、製糖工場には、サトウキビ搾汁後の搾りかすであるバガスが発生する。この食用にできないバガスの一部は製糖工場ボイラーの熱源として再利用されているが、残りのバガスの活用が大きな課題となっている。

今回の実証プラントでは、未利用のバガスを原料として、バイオエタノール、乳酸、コハク酸などの発酵原料となるセルロース糖と、ポリフェノール、オリゴ糖といった高付加価値品を効率よく併産する技術を実証する。

本実証プラントは2018年7月下旬に運転開始を予定しており、日本発の膜分離技術を活用することで、従来の糖液に含まれる水分を熱により蒸発させて濃縮する製造システムに比べて50%以上の消費エネルギーの削減を目指すとしている。

### ◆水処理膜：東レが下廃水処理に最適な逆浸透(RO)膜エレメントを開発（7月5日）

東レは、不純物の除去と透過水量の両面で高い性能を保持しつつ、水中の

汚れ成分の付着にも強い逆浸透(RO)膜『ロメンブラ TLF シリーズ』を上市し、2018年4月から販売を開始したことを発表した。

本製品は、従来の下廃水処理用ROと比較し、透過水量を約3割増加させることができるため、運転コストの低減が期待できるとしている。また、新しい膜表面コーティング技術を確立により、膜表面の洗浄に使用する薬品への高耐久性を保持することで、交換頻度の低減も可能としている。

◆土木材料: BASF がコンクリート混和剤「マスターレオシュア」を上市  
(7月5日)

BASF ジャパンは、普通コンクリートに優れたレオロジーとスランプ保持性能を付与するAE減水剤、マスターレオシュアを上市することを発表した。

マスターレオシュアは、普通コンクリート向けに一貫したスランプ保持およびレオロジー保持を付与することに着目して開発されたコンクリート混和剤で、従来のコンクリート混和剤と比較し、レオロジー保持性能が2~3倍向上させることができ、ワーカビリティやレオロジー特性を、90分以上にわたり確保できるようになった。生コンクリートの打設を、さらに容易かつ柔軟に行えるようになり、生コンの運搬に長時間を要する厳しい状況(環境)下においても対応ができるようになるとしている。

◆培地: 3M が新たな培地迅速測定シリーズ「3M ペトリフィルム E.coli および大腸菌群数迅速測定用プレート」を開発(7月4日)

スリーエムジャパンは、食品業界の微生物検査従事者の働き方改革のサポートを目的に、「3M ペトリフィルム培地迅速測定シリーズ」を拡充し、E.coli、大腸菌群を1枚のプレートで24時間以内の判定を可能にした新製品「3M ペトリフィルム E.coli および大腸菌群数迅速測定用プレート(RECプレート)」を発売したと発表した。

食品衛生管理の国際標準であるHACCPの導入などによる、食品の安全への意識の高まりや人手不足を背景に、食品業界ではこれまで以上に迅速かつ簡便な検査法が求められている。新製品では、さらなる検査の効率化、検査時間の短縮を図るため、1枚のプレートでE.coliと大腸菌群を18-24時間での判定を実現したとしている。

◆電子材料: 昭和電工がパワー半導体用SiCエピウェハー 高品質グレード品の3次増強を決定(7月3日)

昭和電工は、パワー半導体の材料である炭化ケイ素(以下、SiC)エピタキシャルウェハー(以下、エピウェハー)の高品質グレードエピウェハー「ハイグレー

ドエピ(以下、HGE)」について、追加増強を決定したことを発表した。

同社の SiC エピウェハー事業は、業界最高水準である HGE の欠陥密度の低さと高い均一性において高い評価を得ている。同社は 2017 年 9 月と 2018 年 1 月の 2 回生産能力の引き上げを決定したが、SiC パワー半導体市場の急成長に伴う顧客からの旺盛な需要に応えるべく、今回さらなる投資を決定した。

月産能力は本年 9 月に現在の 5,000 枚から 7,000 枚に拡大するが、今回の追加増強により、2019 年 2 月には 9,000 枚まで到達する予定としている。

◆顔料: DIC およびサンケミカル社が、キャセイインダストリーズグループから高純度酸化鉄顔料事業を買収(7 月 3 日)

DIC と 100%子会社のサンケミカルは、キャセイインダストリーズグループ(香港)より、米国・インディアナ州バルパライゾ工場を生産拠点とする高純度酸化鉄顔料事業を買収したと発表した。

対象は、同工場の高純度酸化鉄顔料において、製造・販売に関連する施設、資産、顧客リストなどを含む。投資金額は非公開としている。

同工場の高純度酸化鉄顔料は、口紅やアイシャドーなどのポイントメイク、化粧下地などのベースメイクなど、広く化粧品用顔料用途に使用されている。

同工場で生産している超高純度酸化鉄は、天然系化粧品の欧州統一基準「COSMOS」認証を取得しており、成長市場かつ製品の安全性に関する規制や意識がますます厳しくなる化粧品業界において、同社顔料事業の発展に寄与するとしている。

◆電子機器: 日華化学がナノダイヤモンド系プロジェクター用透過型スクリーンの新製品を発売(7 月 3 日)

日華化学は、ナノダイヤモンド系プロジェクター用透過型スクリーン「DiaLumie(ディアルミエ)」のホワイトタイプを 7 月中旬に発売すると発表した。

「ディアルミエ」はプロジェクターに対応した透過型スクリーンで、同社独自の分散技術とナノダイヤモンドの特性により、既存品についてはスクリーンの透過性を保ちながら鮮明な映像を映し出すことができる。

今回新たに発売したホワイトタイプは一般的なスクリーンとは異なり、プロジェクターから投影させた映像をリア・フロントの両面から見る事を可能にした。投影された映像や光がスクリーンの外に漏れる事がないため、歩道や車道に面したウィンドウにより設置しやすくなり、また奥行きが狭い場所でも超短焦点プロジェクターによるリアからの投影が可能である事から、ウィンドウサイネージにも適している。また、従来品に比べ明るい場所における映像の白飛びを大幅に少なくし、高鮮明、高コントラストな映像を実現させた。

同社は今後、ライブ、イベントなどの空間演出の他、サイネージや店内ディスプレイの用途へと幅広く展開していくとしている。

◆価格改定

- ・デンカがポリビニルアルコールを7月20日出荷分より値上げ  
値上げ幅は、30円/kg
- ・デンカが酢酸ビニルーエチレン系共重合エマルジョンを7月20日出荷分より値上げ  
値上げ幅は、20円/kg
- ・東亜合成が次亜塩素酸ソーダを8月1日出荷分より値上げ  
値上げ幅は、5円/kg以上
- ・東亜合成が酢酸を8月1日出荷分より値上げ  
値上げ幅は、3円/kg以上
- ・石原産業が酸化チタンを8月1日納入分より値上げ  
値上げ幅は、40円/kg
- ・昭和電工が塩素化ポリエチレンを8月1日納入分より値上げ  
値上げ幅は、粉末、シートともに25円以上/kg以上



株式会社 工業市場研究所

TEL:03-6459-0165 FAX:03-5408-1584

〒105-0003 東京都港区西新橋3-6-10 マストライフ西新橋ビル

<http://www.kohken-net.co.jp>

◆メールの設定により、読み難くなる場合がございます。ご容赦ください。

◆配信停止・ご意見・お問い合わせはこちらへ [h-ikeda@kohken-net.co.jp](mailto:h-ikeda@kohken-net.co.jp)

